

《筑波大学附属図書館研究開発室 第4プロジェクト》

附属図書館における貴重資料の保存と公開 ②

附属図書館における貴重書・和装古書の公開と基礎的研究

研究代表者 山澤 学（室員・人文社会系准教授）
研究分担者 谷口 孝介（室員・人文社会系教授）
研究協力者 附属図書館 特別展WG（学術情報部）

当プロジェクトは、附属図書館資料活用の一環としての公開という観点から、次の活動を通じ、附属図書館における貴重書・和装古書・洋書古書の体系的な調査研究とその成果の公開促進について検討することを目的とした。

- ① 貴重書展示室における常設展・特別展の計画・展示活動支援の推進。
- ② 貴重書・和装古書・洋書古書の基礎的調査・研究およびそれらの有効な公開方法・手法・知識・技術の研究。
- ③ 貴重書指定の要件に関する検討。

〔成果1〕企画展の計画・展示活動

令和2年度 筑波大学附属図書館企画展（電子展示による） 「もう一度見たい名品：蔵出し一挙公開」

- ・令和2年12月14日（月）公開。
- ・開学30周年後に開催された平成16年度以降の特別展・企画展を振り返りつつ、本学附属図書館所蔵の優品を再び電子展示により公開する企画展。あわせて、過去の特別展・企画展のwebも再構成して再公開。
- ・当初計画していた特別展がコロナウイルス感染拡大にともなう附属図書館の閉館により準備不可能となり、延期されたため、企画展の開催を計画。
- ・入館が規制される学外者への公開を考慮し、最終的には、電子展示による企画展として計画して実施。

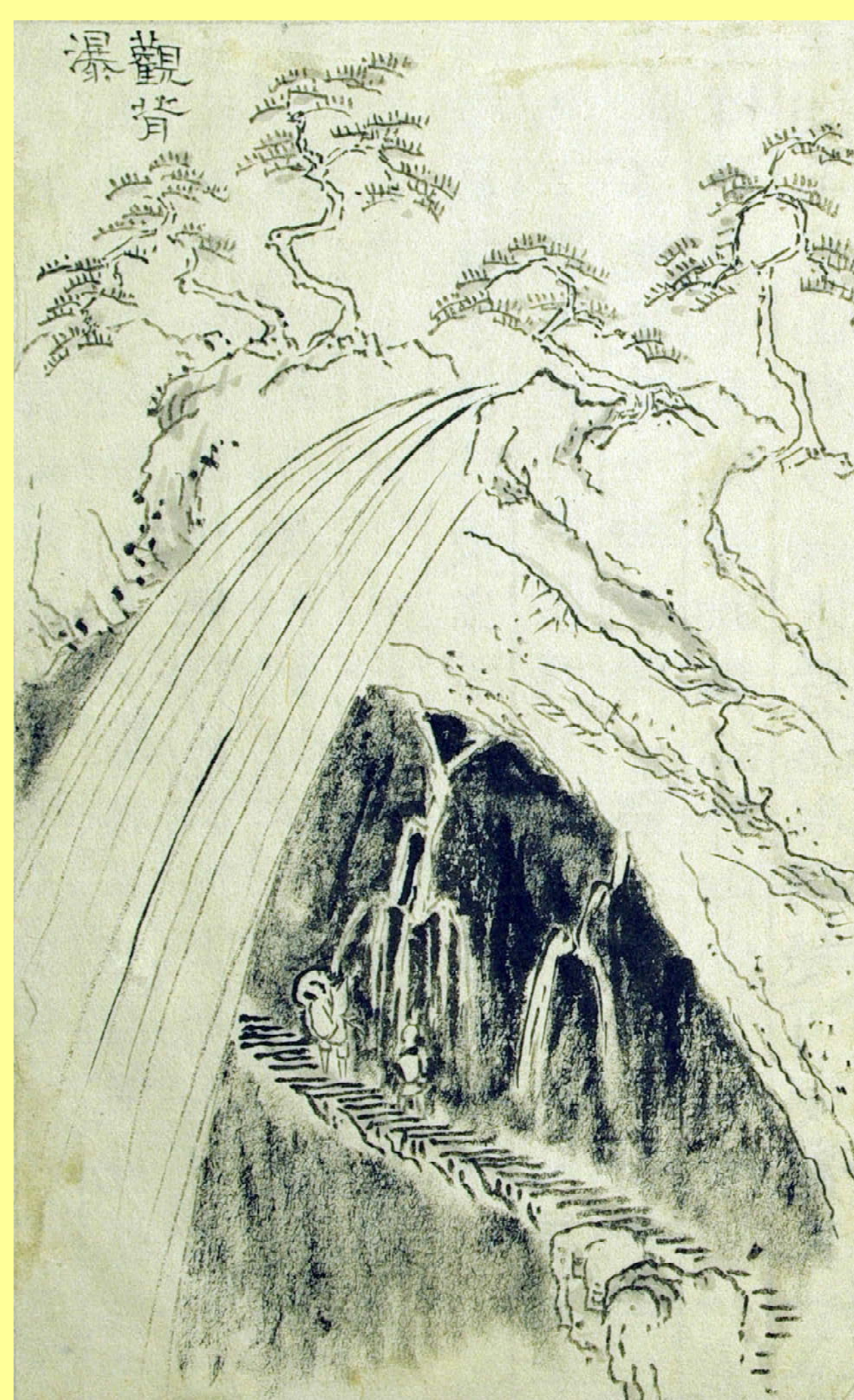


〔成果2〕中学生・高校生への公開・普及活動

「古典に親しもう」の開催（予定）

谷口 孝介「『聖徳太子伝暦』の太子伝承」
山澤 学「『おくのほそ道』日光の旅」

- ・人文・文化学群 日本語・日本文化学類と共催。
- ・令和3年3月21日（日）13時30分～16時00分
zoomテレビ会議による開催を予定。



聖徳太子二歳像（『聖徳太子伝暦』版本 巻上、茨城県立歴史館蔵）

裏見の滝図（天保9年（1838）久須美祐雫「日光山行記」、中央和装ネ308-92）